

15の事例から学ぶ

事故後の家族トラブル対策（施設編）

－トラブルになりやすい事故の家族対応－

事故が発生した後に家族と大きなトラブルになるケースが増えています。なぜ、重大事故でもない事故で大きな家族トラブルにつながるのでしょうか？それは、もともとトラブルになりやすい事故に対して、事故後の家族対応の備えができていないからです。寝たきりの利用者に原因不明の骨折が起きれば、家族トラブルが予想されますから、トラブルにならない家族対応をあらかじめマニュアル化しておけば良いのです。本セミナーでは、様々な事故後の家族トラブル事例から「良くありそうな事故のトラブル」について解説します。安全対策担当者や相談員は必見です。

■研修の目的

介護事故で発生する家族トラブルは、様々な原因でおきますからこれらのトラブルの原因を改善することが再発防止策につながります。様々な原因を把握するためには、事故トラブルの事例をたくさん知って自分の職場の事故に置き換えて考えることが大切です。また、事故によっては家族トラブルに直結するリスクが高い事故がありますから、事前にトラブルを予測して対策を立てることも学びましょう。

セミナーの概要

次の15件の事故後の家族トラブル事例について原因と再発防止策を解説します。

1. リフトチェアから転落寸前でヒヤリハットシート提出、「事故だ！」と家族から猛抗議
2. センサーマットを他の利用者に回したら転倒骨折、「計画書に書いてある、賠償しろ」
3. 施設内の現金盗難で「犯人は職員だ」と訴え、「施設の責任だから弁償しろ」と家族
4. 監査で指摘されショート利用者のY字ベルトを外したら車椅子から転落、トラブルに
5. 「自立歩行中の転倒は無過失」と保険会社の回答を伝えたが弁護士から賠償請求
6. ガラスの異物混入で利用者が口腔内をケガ、厨房業者に対応させたらトラブルに
7. ショートで洗剤誤飲、「異食癖を申告しない家族の責任だ」と主張したがトラブルに
8. ショート利用直前に体調急変で救急搬送、利用をキャンセルしたら訴えられた
9. 行方不明1か月後に施設前の橋のたもとで遺体発見、「呪ってやる」と言う家族
10. 移乗介助で転落し救急搬送され重傷、「施設長が来ていない」と激怒する家族
11. ミートボール丸呑みで窒息死、施設の過失は無いと説明したが訴訟を起こされた
12. 搬送先の病院で医師に事故状況を話したら、家族が「施設の過失だ」と主張
13. ショートの圧迫骨折を「家で介護できない」と言われ入所させ1年間居座られた
14. 利用者の腕が介護職の顔面を直撃し転倒骨折、「防ぎようが無い」と主張したが
15. 職員のミスで骨折し入院先で肺炎で死亡、長男は納得したが弟が訴訟提起

※参加者は事例に目を通してからご参加下さい➡[事例一覧] <http://tiny.cc/8y09yz>

講師プロフィール

山田 滋 早稲田大学法学部卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 セミナー事務局

mail:soudan@nanasha.co.jp